

遅延プレーについての二考

2013年、アメリカツアーで日本の松山選手が遅延プレーでペナルティーが課せられました。遅延プレーは、多くの人に影響をあたえる迷惑行為です。そこで今回CGA競技の開幕に当たって、「遅延プレーについての二考」を中部ゴルフ連盟競技委員長・泉憲一氏にお伺いいたしました。競技者だけでなく一般ゴルファーも参考にしてほしいものです。(CGA編集室)



中部ゴルフ連盟理事 競技委員長 泉 憲一氏

遅延プレーは放置するわけにはいきませんね。なぜ遅延プレーが起きるのですか。

泉 ゴルファーは、大きく分けてHdcpの低い人、高い人。成人男女や高齢者からジュニアまで千差万別ですが、遅延プレーになる原因には…。

① **プレーに対して慎重になりすぎて起きる遅延プレーです。**

距離、風向き、ショットのライなど、ショットに要する時間(迷い)。パティングではグリーン上でのラインの読み方が遅いこと。

② **プレーの歩行速度。** グラダラ歩きも注意してほしいです。

③ **キャディーワークによる遅延もあります。** ボールの行方を的確に見る。クラブの受け渡しも迅速に、プレーヤーとキャディーは一体感のある行動が望まれます。

遅延プレーはプレーヤーにその自覚がないとダメですね。

泉 大事なことは、各プレーヤーが自分のプレーに時間意識を持つことですね。

我々は1ラウンド4時間プレーを目標に奨励していますが、例えば、それを守るためには、4

人1組でショットは12分、ミドルが14分、ロングを16分でラウンドしてほしいですね。「どうせ前が詰まっているから、ゆっくり行けばいい」という声を聞きますが、それは理由になりません。たとえ待たされても自分たちのプレー時間はキチンとしましょう。一人ひとりが時間意識を持つようになれば、遅い人も守らねばならなくなります。

プレーの動作も気をつけなければなりませんね。

泉 前述しましたが慎重はよいけれど、ムダな行為は慎むべきです。例えば、5Iで打とうとし、急に待たせてキャディーに6Iを要求するなど。迷うような場合は、2、3本持つて行くことです。

最近では高齢者ゴルファーも沢山お見えますが「遅れているから走って！」というわけにはいきません。むしろプレーのリズムを早めてもらうこと。そういうお願いをせねば現実的ではありませんね。

ということ、スロープレーには倶楽部側も防止対策が必要ということですね。

泉 そうです。三好の場合は、組

ごとにタイムプレーをキャディーに渡し、正味のラウンド所要時間を計っています。まずスタート前のあいさつで、キャディーが「4時間プレーにご協力をお願いします」。そして前半ハーフのラウンド所要時間と最初の茶店のあるホールまでの到達目標時間を申し渡します。

真摯な姿勢でお願いすれば、ほとんどのお客さんがわかってきて協力的です。マスター室でもキャディーから進行状況が報告されると、その情報と全体の進行状況を分析して、流れ具合でキャディーに的確な指示を与えたりします。遅延プレーの管理は、倶楽部側の都合だけで判断してはいけません。プレーしている側にも遅延する事情があるかもしれないので、その辺の配慮も判断材料に入れないといけません。キャディー、マスター室、プレーヤーの三位一体となった判断こそ理解ある遅延防止策ではないかと思っています。

その他、キャディーには、どんな役目がありますか。

泉 いろいろありますが、例えば、

打つ前に距離のアドバイスをしかりする。距離感で迷っている人が多いので大事な作業だと思えます。またバンカー直しもプレーが手間取っているお客様に直してもらおうと、流れが途絶えますので、キャディーが率先して直すように指示しています。

遅延プレーのことを含めてキャディー教育は大事ですね。

組数が多いと遅延プレーになりがちですね。

泉 アウト、イン同時スタートの場合は進行が難しいですね。

競技の理想人数は100名です。CGAの競技でも決勝日はそのくらいに絞られますが、出来るだけ多くの選手に競技を楽しんでもらいたいと思いますので、予選は組数を多くしておりますので時間がかかったりします。

しかし選手たちが「アウト・インスタートだから、どうせ折り返して待ちが出るのでゆっくりプレーしよう」と考えられると困ってしまいます。その意識が遅延プレーにつながります。待ち時間があるから、プレー時間に手抜きをするのは慎んでいただきたいですね。

目に余る遅延プレーはペナルティーになりますね。

泉 大きな試合になるとそうですが、そのためには主催者側は時間管理に万全な体制をとらねばいけません。大半のアマチュア競技では、それは無理な話ですので選手一人ひとりにプレーファストの自覚を促すしかありません。

遅延プレーは倶楽部のイメージダウンにつながる?

泉 その通りです。アマチュア選手は仕事を持っています。「CGA競技に出たいが、いつ上がれるかわからない」では、競技のイメージダウンになってしまいます。プライベートゴルフでも同じです。「あのゴルフ場は時間管理がしっかりしているから、午前中はゴルフ、会議は午後からにしましょう」となればコミュニケーションも上手くいって会議も有意義に行えるのではないのでしょうか。なによりそのゴルフ場のイメージアップにつながります。

遅延プレー撲滅は、時間のかかる問題ですがあきらめずに啓蒙せねばなりません。

(三好カントリー倶楽部常務理事)